

5. TDM施策の実施状況

※TDMとは、交通(transportation)需要(demand)管理(management)の頭文字で、一般的には「交通需要マネジメント」と訳されています。交通渋滞を緩和するための手法の中で、「車の利用者に対して、車や道路の利用方法の変更や工夫を促す手法」がTDMです。

1) 実証実験概要

- 目的
大型連休時(GW)における北部方面向け(行き)及び中南部方面向け(帰り)交通の混雑緩和のため
- 実施日時
 - ・経路分散・時間分散: 令和7年5月3日(土)～令和7年5月6日(火) ※新聞広告などは事前広報を実施
 - ・信号現示の調整: 令和7年5月3日(土)～令和7年5月6日(火)
- 実施内容
「経路分散」「時間分散」「信号現示の調整」

No.	実証実験内容	目的	内容
I	経路分散	・許田ICや名護東道路の交通集中緩和のため、 宜野座IC～仲尾次(北)交差点において、 羽地ダムルートへの迂回路案内 ※北部方面向け(行き)、中南部方面向け(帰り)ともに実施	・横断幕による迂回路案内 ・立て看板による迂回路案内 ・HPによる情報提供 ・新聞広告による迂回路案内 ・道路情報誌(アシナビー)による 情報提供
II	時間分散	＜北部方面向け(行き)＞ ・混雑時間帯(10時～12時)の交通集中緩和のため、 混雑時間帯を避けた朝方の移動を広報で促進 ＜中南部方面向け(帰り)＞ ・混雑時間帯(15時～19時)の交通集中緩和のため、 混雑時間帯を避けた夜の移動を広報で促進	・HPによる情報提供 ・新聞広告による情報提供 ・道路情報誌(アシナビー)による 情報提供 ・ラジオによる情報提供
III	信号現示の調整	・信号をボトルネックとした交通混雑緩和のため、 混雑の緩和が見込まれる右記交差点について、 最適信号現示を検討し、最適信号現示への変更 による交通混雑緩和策を実施	＜対象交差点＞ ・伊差川IC交差点 ・世富慶交差点(R6年度も実施) ・松田(北)交差点 (R6年度も実施)

2) 迂回ルート及び横断幕・立て看板設置箇所



▲ 迂回ルート及び横断幕・立て看板設置箇所

①横断幕



▲ 設置した横断幕

②立て看板



▲ 設置した立て看板

③ラジオ

＜放送内容＞

北部国道事務所からのお知らせです。連休中は、許田IC、名護東道路、国道58号名護市世富慶交差点付近などでの渋滞が予想されます。特に、北向けは9時台、南向けは17時台に渋滞のピークが予想されますので、混雑しない時間帯に通過することをおすすめします。

④新聞廣告

GWの北部地域は渋滞を上手に避けよう!!


沖縄総合事務局 〒905-0019 沖縄県名護市大北4丁目28番34号 TEL:0980-52-4350
北部国道事務所 <https://www.dc.ogb.go.jp/hokkoku/index.html>
ホームページ

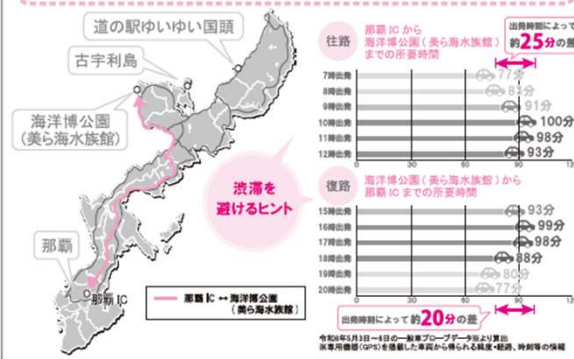
- 1 渋滞を避けるポイント**

**混雑時間帯を知ること
ゆったりと贅沢な時間を満喫！**

 - 北部方面向けは9時頃から混雑することが予想されます。
 - 中部方面向けは17時前後に混雑することが予想されます。

- 2** 渋滞を避けるポイント **迂回して混雑区間を上手に避けよう！**

 - 沖縄自動車道許田ICや国道58号、名護東道路で混雑が予想されます。
 - 古宇利島・国頭方面⇄中南部地域は、羽地ダムルートを活用した迂回ルートがあります。



▲新聞広告による周知(R7.5.2広報実施)

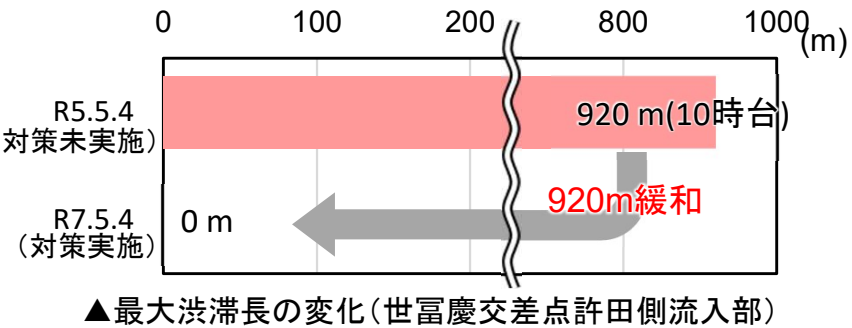
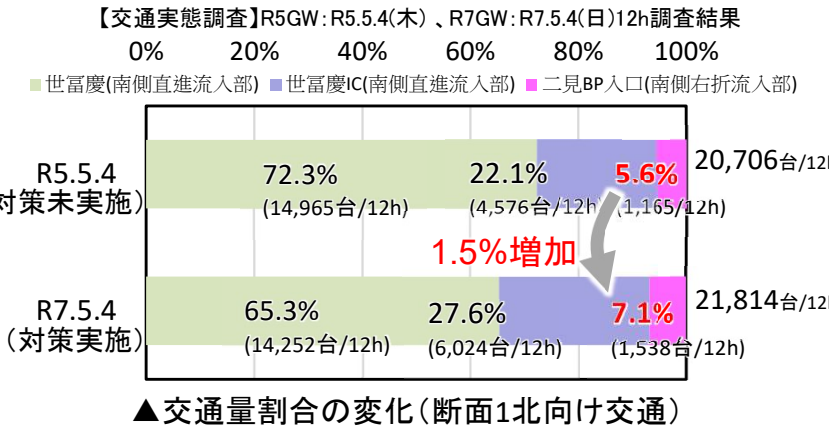
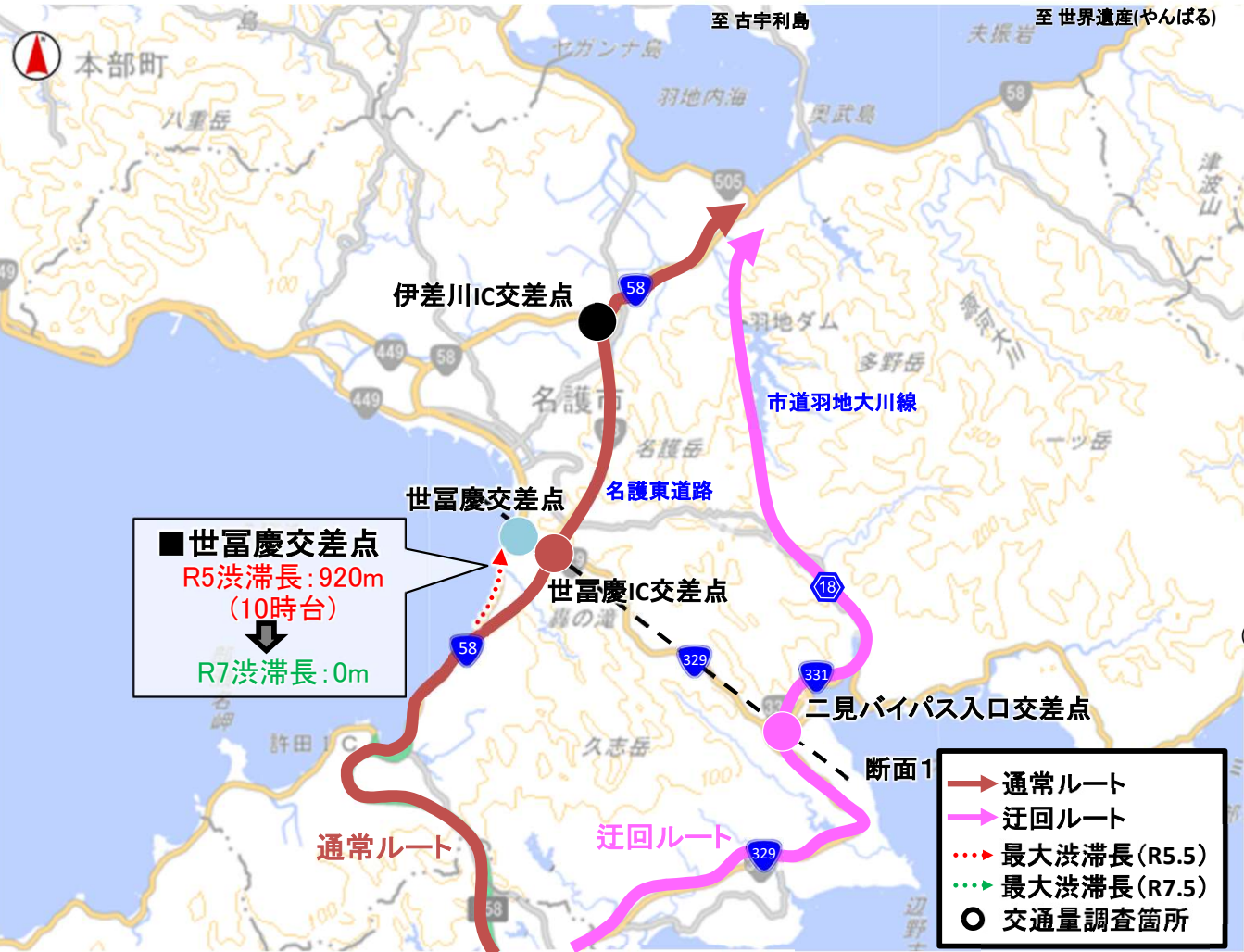
⑤道路情報誌(アシナビー)



▲道路情報誌(アシナビー)による周知

I. 「経路分散」施策実施による効果検証(①北部方面向け)

- ・断面1を通過する北向け交通のうち、迂回ルートを通る交通割合がR5より約1.5%増加⇒一定の効果を確認
- ・世富慶交差点における最大渋滞長がR5年より約0.9km緩和⇒一定の効果を確認

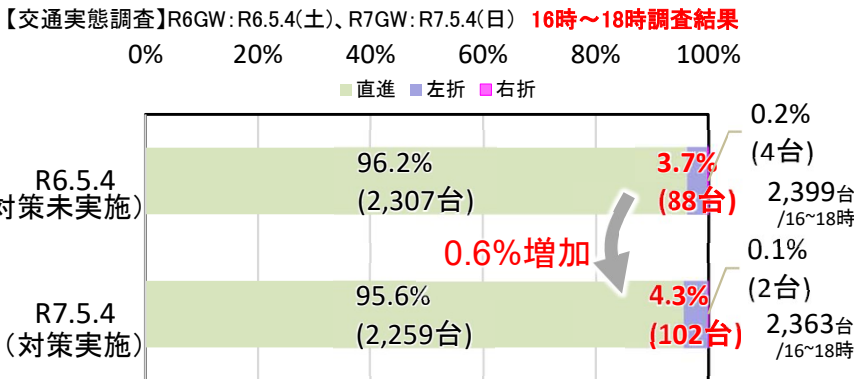


I. 「経路分散」施策実施による効果検証(②中南部方面向け)

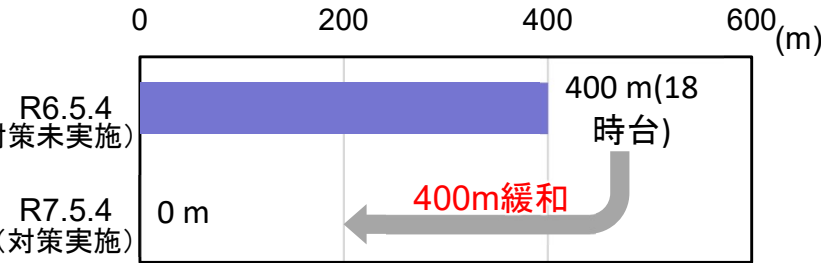
- ・川上交差点を通過する中南部方面向け交通のうち、迂回ルートを通る交通割合がR6より**約1%増加⇒一定の効果を確認**
- ・世富慶交差点における最大渋滞長がR6より**約0.4km緩和⇒一定の効果を確認**



▲経路分散ルート



▲交通量割合の変化(川上交差点比較)



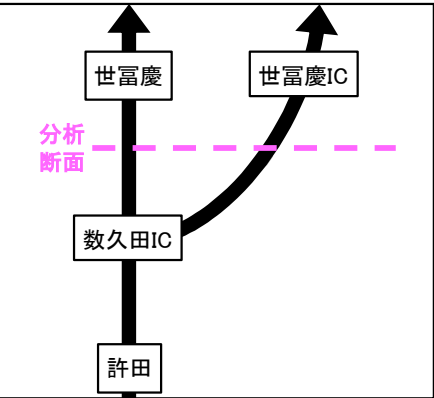
▲最大渋滞長の変化(世富慶交差点東江4丁目側流入部)

Ⅱ. 「時間分散」施策実施による効果検証(①北部方面向け)

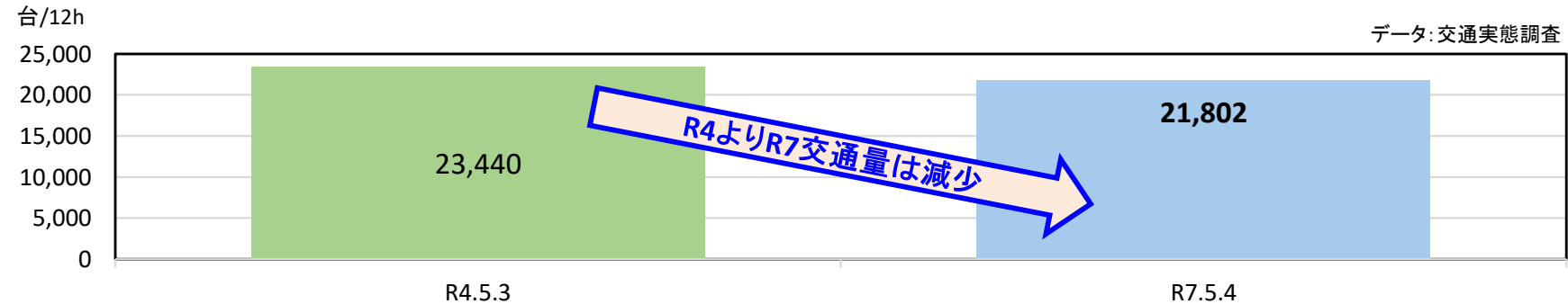
- R7とR4の交通量の比較
- ・北部方面向け交通について、下記の断面を通過する交通量はR4の方が多いため、時間帯別交通量割合で「時間分散」の効果を検証した。
- R7とR4(時間分散施策無し)の比較
- ・北部方面向け交通について、7時台～9時台の時間帯別交通量割合がR4年より約1～2%増加⇒一定の効果を確認
 - ・北部方面向け交通について、11時台～12時台の時間帯別交通量割合がR4年より約1～2%減少⇒一定の効果を確認

▼「時間分散」内容(北部方面向け)

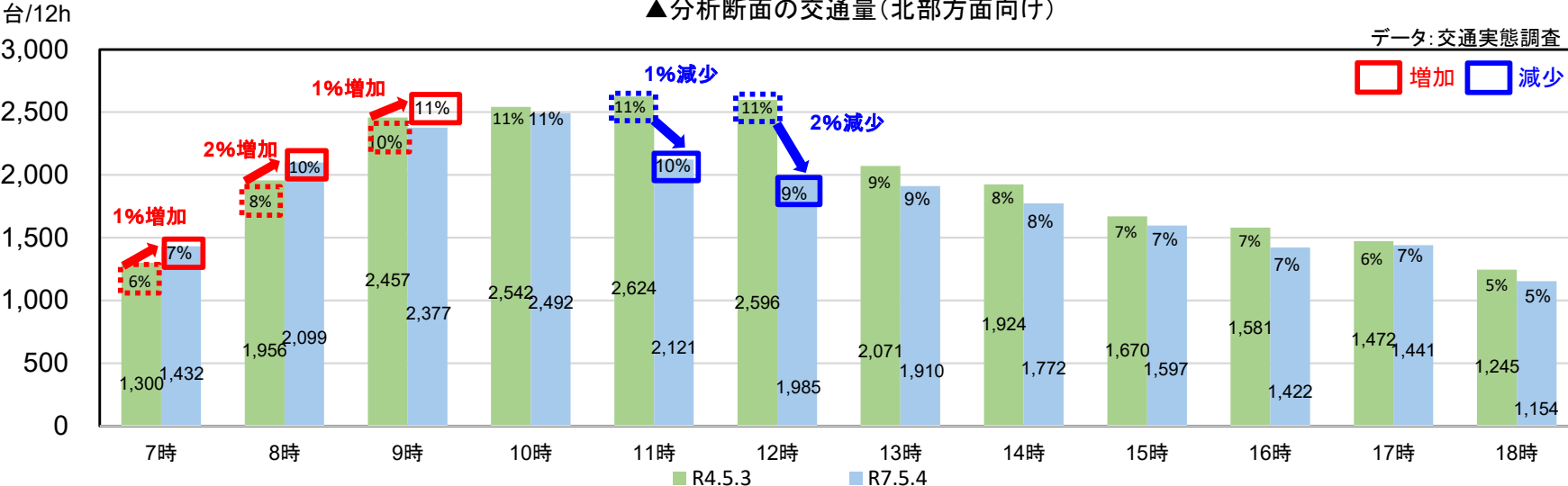
広報媒体	R4	R7
ラジオ		○
チラシ		○
HP		○
新聞広告		○



▲分析断面(国道58号、名護東道路)



▲分析断面の交通量(北部方面向け)



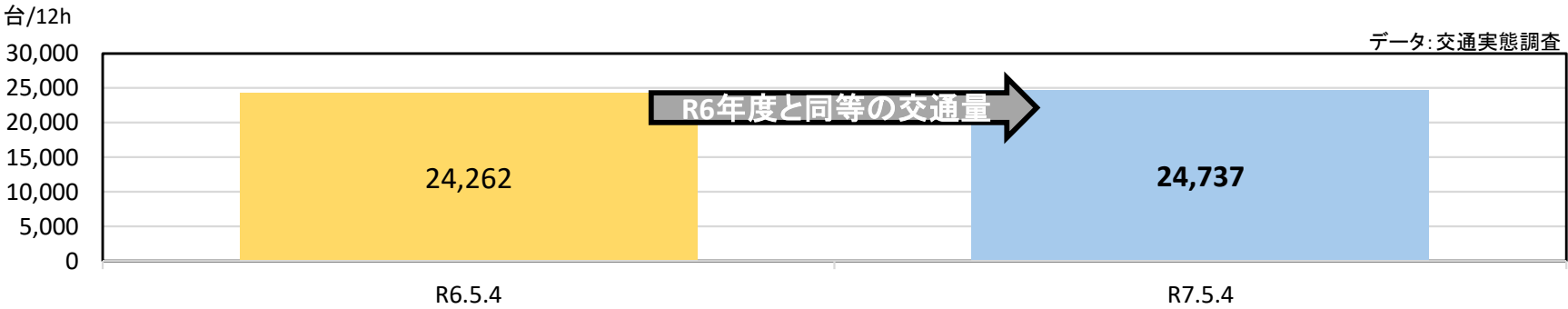
▲分析断面の時間帯別交通量・割合(北部方面向け)

Ⅱ. 「時間分散」施策実施による効果検証(②中南部方面向け)

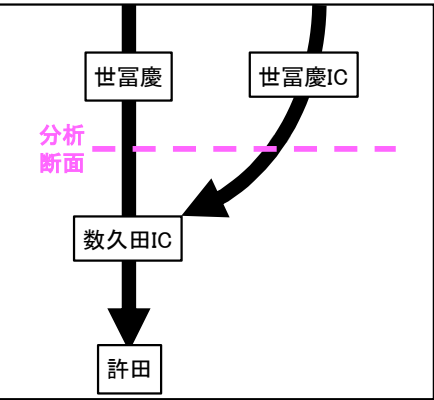
○R7とR6(中南部方面向けの時間分散施策無し)の比較
・中南部方面向け交通について、16時台・18時台の時間帯別交通量割合がR6年より約1~2%減少⇒一定の効果を確認

▼「時間分散」内容(中南部方面向け) 台/12h

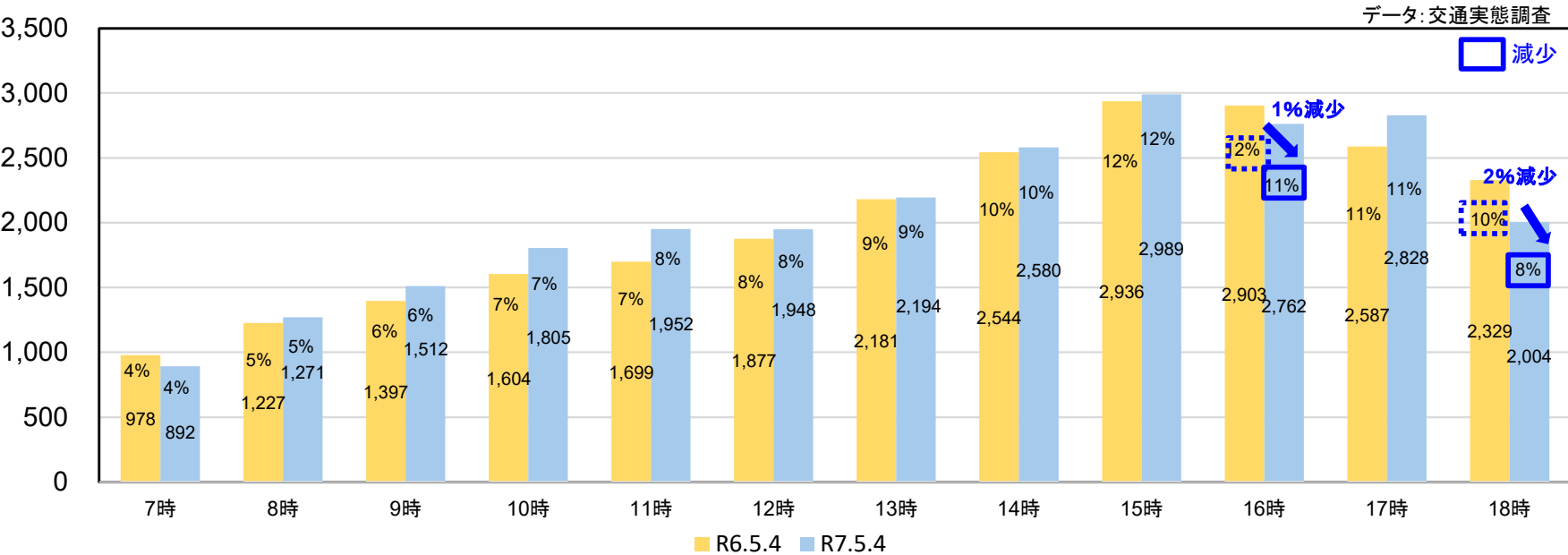
広報媒体	R6	R7
ラジオ		○
チラシ		○
HP		○
新聞広告		○



▲分析断面の交通量(中南部方面向け)



▲分析断面(国道58号、名護東道路)



▲分析断面の時間帯別交通量・割合(北部方面向け)

